

記入例

単独申請
(大学、研究機関)

※行は追加・削除しないでください (行の高さは変更可能です)

1. 過去における補助金の支援実績

【確認事項 (いずれか該当する方にチェックしてください)】

<input type="checkbox"/>	実績なし	※対象事業: 中小企業等外国出願支援事業(JETRO、都道府県等中小企業支援センター実施)または日本出願を基礎としたスタートアップ設立に向けた国際的な権利化支援事業(発明推進協会実施事業)
<input checked="" type="checkbox"/>	実績あり	
実績ありの場合の確認事項 (いずれか該当する方にチェックしてください)		
<input checked="" type="checkbox"/>	フォローアップ調査を提出している	※上記各事業実施要領に定める事項〔採択案件の査定状況報告書の提出、補助事業完了後5年間の状況調査(フォローアップ調査、ヒアリング等)〕
<input type="checkbox"/>	フォローアップ調査対象外 (令和5年度または平成29年度以前の支援案件)	

これまでの補助金事業の採択実績の確認 (いずれか該当する方にチェックしてください)

中小企業等外国出願支援事業 (ジェットロと都道府県中小企業支援センター等) 又は 日本出願を基礎としたスタートアップ設立に向けた国際的な権利化支援事業 (発明推進協会実施事業) に採択実績のある方は、「実績あり」にチェックのうえ、フォローアップ調査の提出についてご回答をお願いします。

※対象者のうち、フォローアップ調査を提出していない方は、本年度は本補助金の申請ができません。

2. 了承事項等

内容を確認のうえ、すべての項目にチェックしてください。

- 本申請書において交付を申請する外国出願 (共同出願の場合は、自身の持ち分について) は、本支援以外の公費又は公費を財源とする資金による支援に対して申請中でなく、採択もされていない。
- 当補助金の事業において、代理人契約、外国特許庁への手続及びその準備など、交付決定後に行った (発注した) 作業に係る経費のみが助成対象となることを了承した。
- 実施要領第3条第1項第1号 (カ) に定める事項 (審査請求が必要なものについては、必ず審査請求を行うこと、中間応答の必要が生じたものについては、やむを得ない場合を除き応答すること) について了承した。
- 実施要領第12条第1項に定める事項 (様式第3による計画変更手続きを行わずに実施する、本補助金に申請・採択された内容と異なる出願 (出願計画の変更) は認められない点) について了承した。
- 実施要領第21条第2項に定める事項 (間接補助事業者の名称、所在地、交付の決定を受けた案件種別及び件数、法人番号、採択日、交付決定日、交付決定金額、確定金額の公表) について了承した。
- 実施要領第22条第2項に定める事項 (補助事業者の承認を受けなくて、自ら放棄又は取下げ等を行わないこと) を了承した。
- 事業完了後、やむを得ない事情により、自ら放棄又は取下げを行わなければならない場合には、必ず事前に補助事業者へ連絡し、承認を受けることを了承した。
- 実施要領第22条第1項及び第2項に定める事項 (補助事業完了後5年間の状況調査 (フォローアップ調査、ヒアリング等)) について了承した。
- 公募要領で示す「本事業で頂戴する個人情報の取扱い」について了承した。

3. 申請担当者

申請書の内容に関する確認や、交付決定通知等の重要な連絡をします。弁理士等の代理人ではなく、必ず連絡可能な貴学の担当者を記入してください。

法人名	国立大学法人〇〇大学		
部署及び職名	知財部 部長	電話番号・メールアドレスについても必ず記入してください。	
担当者氏名	△△ ●●		
電話番号	03-xxxx-xxxx	メールアドレス	〇〇_●●@△△.com